



Kiwi Report

第3号 2019/11/7

11月6日(水) ◆登校

登校3日目となります。昨日は、NZで年に一度だけ花火をして良い日だったようで、ホストファミリーと花火をした生徒もいたようです。今朝のニュースでは、昨夜オークランドで花火による大きな火事があったことが報道されていました。

NZに到着して一番寒い日となりましたが、半袖で登校している生徒もいて、寒くないの?と質問してみると大丈夫との返答です。上着は持参しているということで一安心。今朝聞くと、みんな大分ホストファミリーとコミュニケーションが取れるようになってきたとのことで、日に日に表情が良くなってきています。

今日は、クライストチャーチの市内見学です。

◆市内見学

まずはクライストチャーチ手前のクッキータイムの工場兼直売所に向かいました。クッキータイムは、ニュージーランドでも人気のお菓子です。クッキータイムへ向かう途中には、昨日ブロウトン町長から話のあった工業地域(1ゾーン)を通り抜けます。ここ数年で工場誘致を進めたことにより雇用の創出や人口の増加が進んでいること、クライストチャーチの地震の影響もあり、セルウィン町への企業進出が進んでいること、数年で周辺の景色はさらに変わるといったことをすみ先生からも教えてもらいました。クッキータイムでは、生徒たちは試食をしたり、たくさんのお土産を買っていました。



クライストチャーチ博物館前で



博物館で

◆博物館見学

市内見学の後は、クライストチャーチ中心部に移動。2011年の大地震からの復興は少しずつ進んでいるものの、その影響は未だに大きく残っていました。旧カンタベリー大学も見学しました。地震後は修復工事によりしばらく見学はできなかつたようですが、最近になり一部見学できるようになり、まるでハリーポッターの世界だと生徒たちは大喜びでした。

クライストチャーチ博物館では、マオリの文化やイギリス入植当時の様子などの展示を見ました。ここで森谷くんがNZでやりたいことの一つに挙げていたカカポという鳥も見ることができました(剥製ですが…)

◆リカトンモール

次は、昼食と買い物でリカトンモールに行きました。日本語が堪能な運転手のコリンさんに道路を横断する時は手を繋ぎなさいと言われ、みんな真面目に手を繋いでいました。しかし、金澤くんだけは照れているのか、一番後ろから大人と一緒に歩いていました！

モールでは、すみ先生から15ドルを受け取り、自分で昼食を注文しました。オークランドでは苦戦しましたが、1度経験したこともあってか今回は全員スムーズに注文できたようです。英語も上達したのでしょうか！

集合時間にはお土産だらけになっているのかと思いましたが、意外にもほとんどお金は使わなかったようです。



◆DHS（ダーフィールドハイスクール）へ戻り帰宅

学校への帰り道、昨日表敬訪問で訪れた支所（図書館）に寄り、友好都市提携10周年記念植樹の場所を見学しました。1日歩いて疲れも出たのか、車中で寝ていた生徒もいましたが、「写真を見た家族が心配しないように、満面の笑みで！」とすみ先生からのアドバイスもあり、皆笑顔で記念撮影をしました。

学校へ戻ると、昨日の表敬訪問で対面したカレンさんが待っていました。昨日、カレンさんが飼っている牧羊犬に指示を出す笛の話をしてくれて、それに生徒たちが興味を持ったということで、わざわざ届けに来てくれました！教室に戻り、早速吹いてみると齊藤さん、久保さんはすぐに音を出すことができ、まもなく、全員が鳴らせるようになりました。カレンさんはハッピーバースデーを吹けるほど上手だったので、みんなも帰ってから練習すると意気込んでいました。ホストファミリーを驚かせないように、きちんと説明してから練習するようにね！帰町報告会の時に、一曲披露できるくらいになってくれていると引率としては嬉しいのですが…笑

バスの中では時折、英会話のおさらいをしている声も聞こえ、生徒たちはそれぞれがホストファミリーやここでの生活に馴染もうと一生懸命がんばっています。



羊笛、鳴らせます！

